



ゆたかっこ

学校だより 3月号 ㊸
豊見城市立ゆたか小学校
豊見城市字豊見城601番地1
TEL850-6639 FAX850-3940
校長 宮平 やすみ

子ども達が学校にもどってきました!!!

8日ぶりの登校の日。7時30分の開錠を少しだけ早めました。玄関ドアの前にランドセルを背負ったたくさん子ども達が並んで待っていたからです。「おはようございます!」「久しぶりだねえ」「ひますぎた〜」と次々と登校してくる子ども達を見てやっぱり「子どもがいてこそこの学校なんだ。」と思いました。登校したらすぐに「石けんでゴシゴシ手洗い」です。子どもたちはそれも楽しそうでした。低学年では、体を動かすダンスや体操で笑顔満開!登校再開の様子をNHKテレビ局が取材に来ていました。1年生の手洗いの様子や6年生のインタビューが放送されていましたよ。

学習もしっかりと進めながら、友だちと思いきり遊び、充実した学校生活を過ごすことができることに感謝です。各家庭にお願いしていた毎朝の体温測定も、ほとんどの家庭がしっかりとやってくれてとても心強く思います。新型コロナはまだまだ警戒が必要ですので、引き続き子ども達の健康管理をよろしくお願いします。

一年生。石けんでゴシゴシ手洗いがんばるよー!



登校再開初日の6年生。卒業までもう少し頑張るぞ! がんばりがうれしい!



みんなが頑張るぞー! ダンクおじさんー!



6年生の立つ鳥運動

6年生は、毎日、朝と清掃時間に、学校をもっときれいにしよう!と色々な場所のよごれを落としてくれています。素敵な6年生です!

立つ鳥あとをにごさず



3.11 校長講話より (校内放送)

2011年3月11日 午後2時46分 東北で大地震による津波が発生しました。みなさんはまだ小さかったり、生まれる前のことなのでピンと来ないかもしれませんが、テレビに写った様子は、これが本当に日本で起きていることなのか信じられないようなとても恐ろしい映像でした。この震災で1万5、899名の命が奪われ、2、529名の行方がわかっていません。いつも自分の隣にいた家族やお友達が、突然いなくなってしまう、今もその悲しみを忘れられない人々がたくさんいます。

もうすぐ卒業する6年生は、卒業文集にどんな夢を書きましたか。原発事故で住む場所を奪われ、多くの人々が引っ越した福島県楢葉町の6年生がタイムカプセルに入れた手紙は、自分だけの願いではありませんでした。「震災前よりも町が発展して、いっぱい人が戻ってきてほしい」

9年たった今も被災した人々は、大切な人を失った悲しみを忘れることはありません。けれど、それを乗り越えて前に進もうとがんばっている人々がたくさんいます。被災地の復興も少しずつ進み、町の姿を取り戻しつつあるそうです。でも、そこに住んでいた人が安心して戻ってこられるような状態にはなっていない所もまだ多く残っているそうです。

新型コロナの感染拡大で、今年の東日本大震災追悼式は中止となりました。でも、9年前の大きな出来事を私たちは忘れてはいけません。「がんばろう！東北。がんばろう！ニッポン。」という言葉が日本中にあふれ、お互いを思いやる助け合う気持ちが全ての人を勇気づけました。あの時、日本中が東北を応援し一緒に乗り越えようとする人の優しさ、温かさ、絆の強さに心から感動したことを覚えています。

困っている人、苦しんでいる人、悲しんでいる人のために、自分は何ができるかを考える。今日は、学級で、家族で、命の大切さ、命を守ることを大切さを話し合う日にしてください。

最後に、9年前の東日本大震災の日、お母さんのお腹の中にいた奥田りさとさんが書いた詩を紹介します。りさとさんのお父さんは、津波に流され帰らぬ人となりました。だから、りさとさんはお父さんの思い出がありません。そんなりさとさんが「パパに知ってもらいたいこと、パパに会いたいことを書いた」詩です。言の葉コーナーにもはっているので、読んでください。



あいたいよ パパ

二〇一一年、三月十一日におきた東日本大震災の時、まだお母さんのお腹にいた奥田りさとさんが天国にいるお父さんへ書いた詩です。

パパ あのね
つなみのときは
ママと

ママのおなかのなかのわたしを
まもってくれてありがとう

パパ あのね
パパがてんごくにいったあと
七月十二日に
わたしが生まれたよ

パパ あのね
わたしは もう
一年生になったから
しんばいしないでね
お空の上で
ずっと生きていてね

パパ あのね
ママからきいたよ
パパは
チニス やきゅう スキーが
すこく じょうずだつて
とつてもかっこいいよ

パパ あのね
ママとおねえちゃん
かみをかわいくむすんでくれるよ

パパあのね

ぼっぼは
おんせんにつれていつてくれるよ
おりよりもおいしいよ
じっちは

わたしがすきなニチャンネルを
見せてくれるよ
やさしいからね

びいちゃん
いつも わたしのめんどうを
みてるよ
こんどは わたしが
びいちゃんのめんどうをみるよ

パパ あのね
ママに ときどき
しかられるときもあるけど
パパのしゃしんのまえてきて
「ママにしかられたあ。」
とはなすと
パパのこえがきこえてきそうだよ

パパ いま
とこのお空にいるの
おうちの上のくもの上かな
あいたいよ パパ